

第7回「前田純孝賞」入賞作品一覧

一般の部

前田純孝賞

菜の花の黄色やさしき向こう岸手をつなぐとき風が生まれる

和歌山県和歌山市 大川 けいこ

準前田純孝賞

存在の意味が真つ赤な輪のやうにビル屋上の観覧車見ゆ

兵庫県尼崎市 山本 勇一

ふつつつと諸味の爆ぜる桶覗く母の笑顔を夢に見てをり

兵庫県明石市 西梅 育子

寮生となりて但馬に学びおる息子は慣れぬ大雪の中

兵庫県相生市 高田 郁子

渋柿が魂を得て干柿になる荒縄に吊られてをれば

愛知県蟹江町 田中 徹尾

浜坂町長賞

霧の中浮きあがりたる頂に円を描きて裾野広がる

山口県山口市 田中 みを

無理だから次の電車にするといい父はゆっくり階段降りぬ

京都府京都市 前田 弘子

からっばの郵便受けの前に立ち雨のにおいに空を見上げる

兵庫県三田市 小林 加奈

幸せは時を忘れることもと孫と話せる夕べ短かし

兵庫県浜坂町 中島 美子

はるばるといのちの旅へ発つ君のまるで羽音のようなサヨナラ

広島県広島市 川島 ゆり

法要を稚児行列が盛り立てて過疎なる村のひと日賑わう

兵庫県夢前町 井寄 智子

つば広き帽子にとまる糸トンボとつとつ一緒に橋を渡りき

鳥取県青谷町 安田 キヨ子

唐突に今日はわたしの誕生日朝の鏡に妻つぶやきぬ

和歌山県粉河町 青柳 寿一

窯番の宵は更け来て独り居に炎の音と虫の鳴く声

宮城県仙台市 千葉 實

地吹雪の何も見えない踏切に電車近づく音のしてくる

秋田県秋田市 神尾 昌

浜坂町教育長賞

蠟をぬり鼻緒をみたて下駄をたて客待つ父の背ににじむ汗

山口県徳山市 野田 満

吾が里は天領なりとうそぶきし居組男の子の気骨残れり

兵庫県浜坂町 細川 悠紀子

五ミリずつ過去捨ててゆく書き終えしわが履歴書をシュレッダーにまかせて

青森県八戸市 小間木 玲

トンネルを抜けたる汽車が汽笛あく余部鉄橋渡らんとして

兵庫県城崎町 津田 正

職変えて作業服着る君と会う日焼けせし顔にもう迷いなく

兵庫県三原町 山田 恵子

夕霧の車道に鹿の親子出てスターのごとくライトを浴びる

兵庫県養父市 安積 アキ子

車椅子に乗れる日を祈り夫の膝覆ふトトロのバスタオル買ふ

岡山県早島町 田中 美代子

風生れて浜辺に砂は光りだす素足ですこし歩いてみよう

大阪府大阪市 伯谷 津志恵

山路這ふ沢蟹跨ぎ水音を聞きて訪ねし家不在なり

兵庫県山崎町 鶴田 純孝

我が部落沈めしダムの水枯れて分校の門が傾きて見ゆ

福島県郡山市 鈴木 新

神戸新聞社賞

われもまた山背の風になぶられて若き逝きたるひとの歌よむ

新潟県柏崎市 神林 敏夫

すこやかに寝ねつる吾子は羽化まへのみどりの翅を背に透かし待つ

岡山県岡山市 岡部 かずみ

深海にリュウグウノツカイ育める君が但馬の海は不可思議

千葉県松戸市 猪野 富子

大地には再度立てぬと知りつつも願いを込めて母の足さする

兵庫県出石町 川崎 弘子

海へ続く道の辺にしかと生きをりて果肉付け初む晩夏のはまごう

兵庫県香住町 鶴田 富美代

アーアーと鴉は啼けりまた一人豊後坑夫の逝きし夕暮れ

大分県庄内町 山本 孝男

窓みても白い答案埋まらずになすすべもなく虫歯いじくる

茨城県つくば市 小磯 匡大

トランプに負けて退く白が射る毒矢「お婆。けち婆。白髪山姥」

兵庫県篠山市 中瀬 節子

先に逝しし弟の愛せし猫戻る薄荷煙草も二本残れり

兵庫県姫路市 清水 芳明

ミッドナイトブルーの海の漁り火と月がやさしく出会うこの町

兵庫県浜坂町 段畑 理恵子

(学生の部)

浜坂町教育長賞

あと少しほんのわずかな距離なのになかなかめけぬ目の前の走者

福井県坂井町立坂井中学校 中澤 大樹

自分のせい負けてしまった団体戦投げつけられたラケットが泣く

山口県立華陵高等学校 船木 諒

採用試験に挑みし姉の朗報が来そうな夜の流星の群れ

兵庫県立伊和高等学校 釜田 栄作

晴れた朝陽が差し光る黒板にチョークの音と公式の列

大阪府立夕陽丘高等学校 辻本 志穂

帰り道全てのものがモノクロで君の色しか思い出せない

大阪府立夕陽丘高等学校 田口 未久

冬になり造酒屋おじいさん春まで会えず「さみしくなるな」

兵庫県温泉町立温泉中学校 中村 薫

雨あがり山の中から白い息山も必死に呼吸している

兵庫県立浜坂高等学校 岡部 誠

小さき手のさしのばされしを抱き上げる離さぬようにこわさぬように

兵庫県立八鹿高等学校 栃本 綾子

ちらちらとコップの中に舞い降りて天使の羽が見える冬くる

宮城県名取市みどり台中学校 斎藤 恵美

盗塁のスタート切られた瞬間に爆発するぞ僕の右腕

兵庫県浜坂町立浜坂中学校

関尾 憲正

奨励賞

夕焼けの舗道にのびる黒い影未来の姿写してほしい

兵庫県三田学園中学校

中島 洋平

秋空の夕暮れ雲のオレンジがさりゆくトンボにスツとかさなる

福井県坂井町立坂井中学校

伊藤 明子香

ステージにむかう私を先生の「大丈夫」。だけが支えてくれる。

山口県立華陵高等学校

森重 真朱

君と見る空がこんなに青いなら昨日のケンカは引き分けていい

埼玉県長瀬町 岩田 優祐

どんぐりが落ち葉の布団で寝ているよあったかくして冬をすごせよ

兵庫県立伊丹北高等学校

真栄田 大介

あたたかく泣く子をあやす母親が私を泣かせた姉と思えず

兵庫県立夕陽丘高等学校

徳峰 裕美

日に一度兄への電話をかけたがる自立しないとダメだよ母さん

大阪府立夕陽丘高等学校

田部 愉利

十四年いろんなことがあったけど今はやっぱりバレー一番

愛知県甚目寺町立甚目寺中学校

伊藤 健太

白い紙何も書いてはいないけど自分の地図をこれから描く

兵庫県立浜坂高等学校

大深 英里奈

放課後にみなで奏でる音楽は私の心を真っ白にする。

兵庫県立浜坂高等学校

西垣 美穂

あまりにもませてひねくれ過ぎていてわたしは「少女」の顔を知らない

宮城県名取市立みどり台中学校

佐竹 鮎香

紅き雲偉大な青にまざりゆきほんのり灯る家へと急ぐ

兵庫県浜坂町立浜坂中学校

谷元 愛

雪の夜月の光と降る雪が冬の蛍のごとく輝く

兵庫県浜坂町立浜坂中学校

岸本 和也

誰にでも笑って応え嘘をつく心に仮面私は道化

兵庫県立浜坂高等学校

井上 一也

夢を追う君の背中が大きくてちよつとあせつた中三の秋

兵庫県立浜坂高等学校

池田 真希